

湖山池ナチュラルガーデン 晴れらかだより 冬号

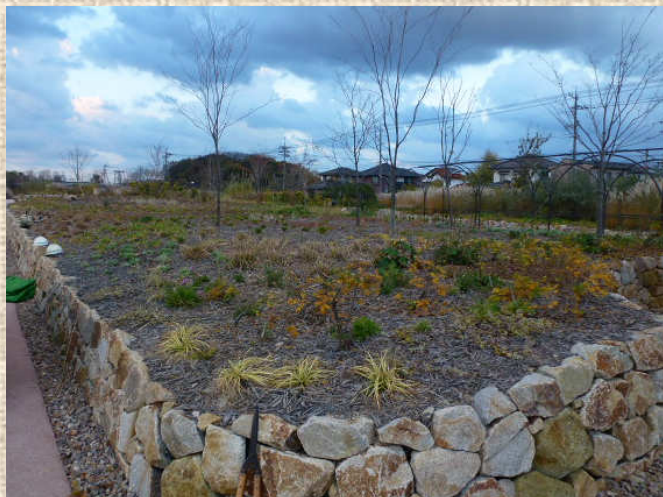
すっかり寒くなってしまいました。庭園内の植物はほぼすべてが宿根草といわれるもので、冬は根にエネルギーを宿す草花です。その多くが今年の仕事を終え、成熟した種を落としたり、地下の根に力を蓄えたりと、来年への準備が終わろうとしています。準備が終わると葉は今年の役目を終えます。

そんな植物を助けるべく、地上部の刈り取り作業が進められています。ススキ等の多い庭園は稲刈りの終わった田んぼのように切り株があちこちに散らばっています。その中でももう芽を伸ばしているものがちらほら見え隠れしていて、これからの積雪や肌を刺す風の中どうやって春まで耐えるのだらうと不思議に思います。

スイセンなどの一部の球根植物を除き、やがてくる春の芽吹きに備えてしばらく休眠します。少し寂しくなりますが、来年元気な葉ができるように暖かく見守ってください。

著書の中でポールさんはこう言っています「曇った寒い日も、木枯らしの中も、ポケットに手を入れて、凍える植物を見るのも悪くない。」と

今回は、過去の庭園の冬の様子を紹介します。



昨年の切戻し後
ほぼすべての地上部はこのように切り取られます。
ここから厳しい冬のスタートです



こんな日もありました
湖山池が凍ったとき。汽水化を行う直前です。
今は塩の影響で凍りにくいかな。



H24年の積雪状況
10cmくらい積もっていました。辺り一面
真っ白です。植物は地中で我慢中。



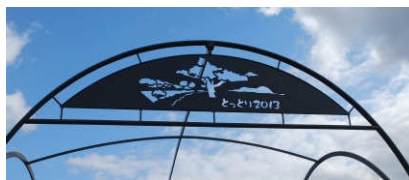
とっとり晴れやか庭園



ここでは制作中のエピソードの一部を紹介します。

その5：トレリスの豆知識

植物を絡ませるための格子状のアーチをトレリスと言います。このトレリス、藤棚のように上部全部を覆ってしまうのではなく、フレームだけに植物が絡むようなデザインになっています。窓から外を眺めるように、また、写真を撮るときのフレームになるようにイメージし、それぞれ異なる植物を絡ませています。また、南北の入口にはフェアの開催を記念に、北側にはシンボルツリーの「タチヤナギ」と「湖山池」を、南側には、シンボルフラワーの「サンインギク」を彫ったプレートが付けられています。出入口部に来た時には、是非、見上げてご覧ください。



おまけ：フェアのシンボルツリーの豆知識

とっとりフェアのシンボルツリーはご存知でしょうか？

湖山池の水際にフェア開催前からダイナミックに生息している「タチヤナギ」です。しかし、そのタチヤナギも度重なる強烈な台風で、枝が折れたり、傷んだりしましたが、剪定を行ったり土壌の改良を行ったりと懸命な努力を繰り返し、姿かたちこそ変わってしまいましたが、生命力の強さは今も健在です。

そんな雄大なシンボルツリーの足元には、湖山池を一望できるデッキテラスがあります。ゆっくりと湖山池とその周辺の四季を眺めてみてはいかがでしょうか。



とっとりフェアロゴマーク

庭園ぐるっと一周お勧め散策順路

全部で8つのエピソードを紹介予定です

その4：夕日の美しい散策路

おまけ：シンボルツリー

その2：彫り込みレリーフ

その6：巨石と滝

その8：石積み

その7：四阿のデザイン

その1：ナチュラルガーデンのコンセプト

その3：ビオトープ水辺護岸

その5：トレリス

お問合せ先
指定管理者：株式会社鳥取グリーン
☎0857-28-5090

発行：鳥取市役所 都市環境課
☎0857-20-3252

★鳥取駅より車で20分 ★鳥取大学前駅より徒歩10分
★鳥取駅から路線バスや観光周遊バス(土日祝のみ)が出ています。